



第24回 山口大学おもしろプロジェクト 4月



第23回おもしろプロジェクト'18最終報告会を実施



4月7日(日)に、吉田キャンパス共通教育講義棟15番教室にて、第23回おもしろプロジェクト18の報告会が開催されました。2018年度の採択プロジェクトは「通常」が4件、「light」が8件、「テーマ型」が1件の計13件でした(「通常」、「light」、「テーマ型」の区分に関しては下の記事を参照してください)。この13件のプロジェクトがパソコンのプレゼンテーションソフトを用いながら、詳しく1年間の成果を口頭発表しました。いずれのプロジェクトも非常に独創性にすぐれており、学生らしいユニークなプロジェクトでした。質疑応答時間では出席した教職員だけでなく、学生からも活発な発言がありました。この日は新入生歓迎フェスティバルも開催しており、たくさんの新入生の来

はいました。プロジェクトの年間の成果は現在自主活動ルーム前にて掲示していますので、新入生も含め是非多くの学生に「おもしろプロジェクト」に興味をもってもらいたく思います。そして是非2019年度の「おもしろプロジェクト」に参加してもらえたらと願っています。

第24回おもしろプロジェクト'19を募集

「山口大学おもしろプロジェクト」は、自由な発想に基づく正課外活動実施のための資金支援制度です。1996年より開始されており、20年以上の長い歴史があります。そして現在では山口大学の特色ある教育プログラムの一つとなっています。これまでに200件以上のプロジェクトが採択され、約2500人ももの学生たちがおもしろプロジェクトの根幹である「発見し・はぐくみ・形にする『知の広場』」を体験してきました。

現在、「第24回おもしろプロジェクト'19」のプロジェクトを募集しています。募集区分には、「通常」(最高支援額50万円)、「light」(最高支援額10万円)、「テーマ型」(最高支援額10万円)の3つがあります。「通常」は、プロジェクト課題に対して深く追求や探求するものです。今年度達成すべき目標をたてて、計画的に課題を追求します。

「light」や「テーマ型」では、プロジェクト課題に対してまずはアプローチしてみる萌芽的なものを募集しています。どうなるかはわからないけれど、これをやってみたら絶対おもしろいことになる、という、まさに「やる気」を応援するものです。「テーマ型」ではよりアプローチがしやすくなるように、テーマを提示しています。提示しているテーマは、「自転車問題・山口市/宇部市の活性・地域防災力・文化/スポーツ振興・環境対策」の5つです。

二度と来ない大学生活です。ただ授業を受けるだけでなく、何かにチャレンジして有意義なものにしてみませんか？

キミの「やる気」を待っています

2019年度プロジェクト募集

募集要項・申請書は山口大学ホームページ「おもしろプロジェクト」からダウンロードできます

フオオモ

キミのやる気を応援します

思う存分、夢を「カタチ」にする。
山口大学おもしろプロジェクト

申請締切 4月26日(金) 13:00

山口大学法人・山口大学 大学教育機構 学生支援センター
〒753-8585 山口県山口市 学芸館 3号館3階

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



第24回 山口大学おもしろプロジェクト 5月



おもしろプロジェクトガイダンスの実施

「山口大学おもしろプロジェクト」は、自由な発想に基づく正課外活動実施のための資金支援制度です。1996年より開始されており、20年以上の長い歴史があります。そして現在では山口大学の特色ある教育プログラムの一つとなっています。これまでに200件以上のプロジェクトが採択され、約2500人ももの学生たちがおもしろプロジェクトの根幹である「発見し・はぐくみ・形にする『知の広場』」を体験してきました。こうした「おもしろプロジェクト」の魅力が学生に伝わるとともに、2019年度のおもしろプロジェクト申請書類の作成に関する質問に答える機会として、ガイダンスを実施しました。4月9日は常盤地区にて、4月12日は小串地区にて、また吉田地区では自主活動ルームにて4月25日まで希望者の来室に伴って随時開催しました。参加者は合計で6名と非常にさみしい状況ではありましたが、いずれの学生も2019年度の申請に向けて、積極的に質問をしていました。

第24回おもしろプロジェクト'19の募集終了



4月26日をもって「第24回おもしろプロジェクト'19」のプロジェクトの募集が終了しました。募集区分「通常」（最高支援額50万円）には6件、「light」（最高支援額10万円）には2件、「テーマ型」（最高支援額10万円）には1件の、計9件の申請がありました。現在、学内の選考委員により選考が行なわれています。募集区分「通常」に関しては、書類選考とヒアリング選考が行なわれます。「light」や「テーマ型」は基本的に書類選考だけとなっています。採択プロジェクトに関しては、後日この紙面やホームページなどで紹介させていただきます。採択されたプロジェクトは6月より活動を開始することになります。

今年度の申請件数は、昨年度や一昨年度と比較すると少し減った傾向にあります。近年、学内にて様々な正課外活動の機会が展開され、さらにPBL（Project Based Learning）に代表されるような正課でありながら、昔でいうところの正課外活動の機会も増えています。おもしろプロジェクトがより学生の皆様に興味を持ってもらえるように、魅力発信の強化に努める必要がありそうです。

多数の申請、ありがとうございました

第23回おもしろプロジェクト'18学長賞に関して

第23回おもしろプロジェクト'18では、13のプロジェクトが活動を行ないました。学長や副学長をはじめとする教職員や学生より、これら13のプロジェクトの中で「これはおもしろい！」という投票を受付ました。投票期間は4月の最終報告会とその前後1週間で、自主活動ルーム前、吉田の「ポーノ」学生食堂、常盤および小串の学生食堂前でおこないました。投票数は全部で31票とさみしい状況でした。現在集計作業中です。おもプロ学長賞に選出されたプロジェクトは、学長より直々に表彰を受けることになります。受賞プロジェクト名やその表彰式の様子は、後日ホームページ等で紹介させていただきます。

<おもプロ'18プロジェクト一覧>

～家庭医療べんきょう会～／～Code Orange～／～電脳飛行～／～'18 長州藩～／
 山大にゃんこ大作戦／Show Our Campus！！／来たれ！農場めぐりあい／もりプロ／
 木製グライダー製作／Share KASA／YUシェアハウス経由 山大スクールバス／
 山大メモリアルニキシー管時計を作ろう／体験で学ぶ防災・減災

おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
 自主活動ルームにて受け付けています



第24回 山口大学おもしろプロジェクト 6月



2019年度おもしろプロジェクトの決定

第24回おもしろプロジェクト'19の「通常」プロジェクトが決定しました。いずれもユニークにあふれるプロジェクトです。これからの1年間、しっかりとプロジェクトを遂行し、有意義な大学生活の一助としてもらえれば幸いです。これらのプロジェクトは学内でも様々なイベントを行なうこととなります。おもしろプロジェクトをしていない学生の皆様も、そうしたイベントに参加することで、「おもしろ」に触れていただければと思います。「light」や「テーマ型」のプロジェクトに関しては現在第2期募集中であることから、第2期の採択結果とともに後日お知らせいたします。

【通常】ブリッジコンペティション ～リダンダンシー～

ブリッジコンペティションは、学生自らの力によって鋼橋模型を製作する大会である。架設（作業人数と架設時間）、美観（デザイン性）、载荷（規定内のたわみと模型の自重）の3つの観点で全国の大学や高専と競い合い、橋梁模型の製作を通じ、工学知識の応用力や問題解決能力、デザイン力を養うことを目的とする。また、オープンキャンパスや学科の啓発活動にも積極的に参加し、ものづくりや土木・建設業界の魅力を伝える方針である。

【通常】化「楽」実験！～考えよう未来の環境～ ～3K Lab.～

私たち3K Lab.は、このプロジェクトの目的として3つ掲げています。それは、①子どもたちに対して化学に興味をもってもらう、②化学実験を通して環境問題とその対策について考えてもらう、③山口大学（工学部）を知ってもらう、です。プロジェクトでは、県内外の小、中、高生を対象とした化学実験イベントを行いたいと考えています。このプロジェクトは、化学に興味がある人を集めて行うのではなく私たちが実際に学校に行くことで、化学が苦手な学生も含めてより多くの学生に化学の「おもしろさ」であり「不思議」に触れてもらいたいと考えています。さらに、化学実験の内容は環境対策（資源有効活用、環境保護）に関連するものにする事で、楽しく実験を行いながら、環境についても考えてもらいたいと思っています。最後に、県内外の学校に出向くことでオープンキャンパスに来ることが難しい人達にも山口大学（工学部）のアピールが出来たら良いと考えています。

【通常】野良猫増加に伴う公衆衛生学的問題を周知するプロジェクト ～山大にゃんこ大作戦～

近年、野良猫の増加が問題となっており、全国的に地域ネコ活動を行う団体が増加している。野良猫の増加は、殺処分や望まれない死を迎える命の増加を助長する。また猫の密度が高いことによる人獣共通感染症などの感染症が蔓延する危険性、住民間のトラブルなどにつながる。特に感染症ではSF TS（重症熱性血小板減少症）など人命に関わる人獣共通感染症の存在が近年騒がれている。そこで、本プロジェクトでは、野良猫の増加に伴う問題の中でも特に感染症蔓延など公衆衛生学的な問題を山口大学学生や周辺住民に周知することを目的とした。計画としては、山口大学の学生向けに、月1回程度の感染症などに関する勉強会を一年間に5回行う。勉強会のうち2回は外部講師を招待し、市民公開講座として開催する。勉強会では、テストを行い参加した学生、住民が、どの程度知識が取得できたかを検証する。また、勉強会で学んだ内容をまとめて、教科書を作成し、一般向けに公開することでより多くの人への周知を図る。

【通常】AIホビーロボット制作プロジェクト ～ロボットとの共生を目指すグループ～

強化学習の代表的手法である深層強化学習（DQN）をロボットに組み込み、それらを用いて子どもたちに遊んでもらうことで、ロボットを操作して遊んでもらうことの楽しさを知ってもらう。実際に遊んでもらうゲームは、今の段階では玉入れロボットを考えている。ロボットは人工知能（AI）側用と人間側用の2種類製作する。AI側用では、全方位センサの情報のみを用いて深層強化学習（DQN）の学習モデルを生成し、自立移動を可能にする。人間側用では、家庭用ゲーム機器のコントローラを用いてロボットを操作し、ゲームを遊んでもらう。実施計画としては、6月末までにロボットの機体完成、9月末までに深層学習モデルの作成を行っていく予定である。

第24回おもしろプロジェクト'19の第2期募集



「light」（最高支援額10万円）と、「テーマ型」（最高支援額10万円）に関して、第2期募集を行うことが決定しました。第2期募集では、4月の申請にて設けていた修正期間はありませので、ご注意ください。申請書の書き方などの相談は、辻（自主活動ルーム）が随時受け付けております。多数の応募をおまちしています。

第2期募集の申請の締切：2019年6月28日（金）13:00（厳守）

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



第24回 山口大学おもしろプロジェクト 1月



第24回おもしろプロジェクト'19の第2期募集終了

6月28日をもって6月12日より募集を行っていた「第24回おもしろプロジェクト'19」の第2期プロジェクトの募集が終了しました。第2期では「light」と「テーマ型」（ともに最高支援額10万円）のみの募集でした。第2期募集では、「light」に2件の申請がありました。第1期での募集とあわせて、2019年度の「light」と「テーマ型」の申請数は4件となっています。現在、選考が進められており、7月中旬に選考結果の発表、7月下旬より活動の開始となる予定です。

第2期募集中に講義「知の広場」において岡学長より講演を頂く機会がありました。岡学長のキャリアやこれからの時代の流れなどの紹介に加え、山口大学の特色についても語って頂きました。この山口大学の特色を紹介していただく中で「おもしろプロジェクト」にも触れていただきました。第2期募集中ということもあり、講義「知の広場」の終了後には早速問い合わせの来室がありました。より充実した広報により、たくさんの山口大学生の皆さんに、山口大学おもしろプロジェクトの魅力をお伝えし、「私もやってみようかな」と思ってもらえるようにしていこうと思っております。

多数の申請、ありがとうございました

第23回おもしろプロジェクト'18学長賞決定



7月1日（月）、「第23回おもしろプロジェクト'18」学長賞の表彰式が学長室において開催され、岡学長から受賞3プロジェクトの代表者へ表彰状と記念品が授与されました。今回の受賞プロジェクトは、「Share KASA」、「山大にゃんこ大作戦～略してYND～」、「ニュータイプ無人航空機設計計画～電脳飛行～」でした。受賞プロジェクト3件のうち、「通常」が1件、「light」が2件という状況でした。「light」のおもしろさが認められている結果だと思えます。表彰式にて学長より、受賞者の学生に対して「皆さんのおもしろさへの追求がこの受賞につながったのでしょうか、皆さんがおもプロを通じて感じた経験を是非友達や後輩に伝えていただきたい」という話もあり、受賞者は大きくうなづいていました。

Share KASAの実施



昨年度のプロジェクトであり、おもプロ学長賞にも選ばれた「Share KASA」システム（学内にて傘を共有する）を、まもなく学生支援センターと学生支援課が実施することを予定しています。実施場所（傘の貸出、および返却場所）は、共通教育棟正面玄関、第1学食「ポーノ」、第2学食「きらら」となる予定です。是非ご利用ください。



おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています

～リダンダンシー～

5月19日にJSBC2019のルールブックが公開され、設計条件を基に設計を開始しました。5月27日にプロジェクト参加者を対象にJSBC219の概要説明会と役割分担発表会を開催し、それぞれの仕事を確認しました。各個人に振った仕事の進捗状況は、毎週木曜日にミーティングを開催し、確認しています。6月19日には、エム・エムブリッジ（橋梁メーカー）の設計担当の方と意見交換会を実施しました。この意見交換会は、私たちが設計した橋梁模型の設計レビュー会であり、設計ポイントや工夫点について意見を交わしました。この意見交換会で、私たちが考慮できていなかった設計手順のご指摘を頂いたり、実際の橋梁設計で考慮すべき設計手順を教えてくださいました。この日頂いたご意見（想定される力や変形、橋梁崩壊の起点になりそうな部材とその対策方法）を参考に修正設計を行いました。この日の体験は、普段の講義では経験することができないので、とても勉強になりました。



橋梁メーカーとの
意見交換会

～3K Lab.～

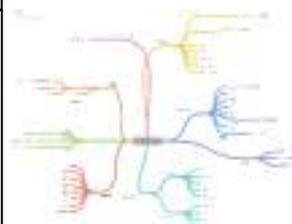


島根県にて
化学実験セミナー
を開催

今月の7月17日に島根県立吉賀高等学校にて「化学実験セミナー」が行われました。高校1年生の32名と私たち3K Lab.のメンバー8名で実験と軽い講義を行いました。前日までに話し合いや流れ、実験のシミュレーションを何度も行った甲斐もあり、スムーズに成功させることができました。今回の実験では高吸水性樹脂を用いた芳香剤作りを行いました。高校生4人の班に実験や班でディスカッションしてもらった際の補助として、1人の大学生がつくことにしており、大学生が中心となって高校生の考えやアイデアを引き出せるようにしました。セミナー後のアンケートでは、「化学を身近に感じることができた」や、「大学への関心度が増した」という意見が多くありました。実際にセミナー後に大学生生活のことをたくさん聞かれ、卒業後の進路で大学進学も視野に入れていこうと思った子がいると聞き、今回のセミナーが化学や大学に興味を持つきっかけになったのではないかと思います、とても嬉しかったです。次回の8月のセミナーも今回同様に本番前の準備をしっかり行います。

～ロボットとの共生を目指すグループ～

グループ全体での活動としては、ものづくり創生センターで毎週水曜日の16:40～から行っています。また、メンバーも当初の予定よりは増え、現在は8人で活動しています。全体での活動として、まずは連絡ツールなどの利用ツールについて共有しました。コミュニケーションツールとしてSlackの導入、アイデア出しとしてマインドマップ作製ツールcoggleを導入しています。写真はマインドマップを用いたアイデア出しの結果の一部です。4回程度話し合い、アイデアとしてはバトル型ロボットの方向性に決定しました。また、制作するロボットの部品を購入しました。1つは、超小型AIコンピュータと話題のJetsonNanoです。これをロボットにのせ、制御を行う予定です。もう1つは、Intel Realsense D435iというデプスカメラです。このセンサを用いて、ロボットの自己位置推定を行います。今月期はアイデア出しや必要物品の購入を行いました。来月期からは、実際に動かしていきたいと思っています。



マインドマップを
用いた
アイデア出し

2019年度おもしろプロジェクトの決定：PART2

第24回おもしろプロジェクト'19の「light」プロジェクトが決定しました。今年度は残念ながら「テーマ型」の採択はなく、「通常」の4件と「light」の2件の計6件が「おもしろプロジェクト'19」として活動します。各プロジェクトの活動に興味のある方は是非ご連絡ください。また学内でもプロジェクトによる様々なイベントが開催されると思いますので、足を運んでみてはどうでしょうか。

【light】導入費用250万減！？超格安セルフレジ構築

近年小売業では人手不足が深刻な問題化しており、これを原因とする倒産が急増している。この問題を解決するため大手企業では少人数でも店舗を運営できるよう「セルフレジ」の導入が試みられている。しかし、1台当たりの導入費用は260万円を超える物があるなど費用面における大きなハードルがあり、資金力の乏しい個人事業主をはじめとする中小企業がこれを導入するには手痛い出費となってしまう。本プロジェクトでは中古、ジャンクのレジ部品を収集して修理、組み立てを行うことでセルフレジの開発費を10万円以内に抑え、セルフレジの普及を図ることを目標とする。

【light】Mini Bus Tour! ～Exploring Yamaguchi～

山口県には魅力的な観光名所が多数あるにも関わらず、山大留学生の間では「どこに行くべきかわからない、行きたくても車がない」という声が多い。そこで本プロジェクトでは、山口県の観光地に関する調査に基づく独自のバスツアーを計画し、留学生とともにその観光地に訪れる。そこで留学生がどのようなことを感じ学ぶのかを調べるのが本プロジェクトの目的である。この調査結果を経済学部観光政策学科に対して積極的に伝え、その学科の専門的知識を高めようとする意欲向上の一助とする。

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**

導入費用250万減！？超格安セルフレジ構築

今月はセルフレジの開発準備を主に行いました。開発の準備を迅速に行えるように必要経費を自己負担で処理した事もあり、自分の未熟さを感じました。また、メーカーより提供されていたサンプルプログラム(自己所有、プロジェクト開始前より保有)のソースコードに関して自分のパソコンの環境データを打ち込む必要がある事に気づくのが遅れ開発に大きな支障をきたしてしまいました。元々自分に不勉強な点があるとは言えプロジェクトを計画通りに進めることの難しさを実感しました。オープンキャンパスではセルフレジの構築に必要な釣銭機およびサンプルプログラム(実行ファイル)を展示し、実演も行いました。特に、釣銭機の排出動作の実演は滅多に行われるものではないため非常に有意義な展示を行うことが出来たと自負しております。また、レジの企画の目的を来場者の方々にお伝えすることができ、理解も得ることができました。来月はレジシステムの開発を本格的に進め、姫山祭までの完成を引き続き目指してまいります。



オープンキャンパスにてレジを展示

Mini Bus Tour! ~Exploring Yamaguchi~



バスツアーの実施にむけたミーティング

今月の活動内容は、構成員によるミーティングが中心となった。ミーティングでは「今回のバスツアーを如何にして学びの多いものにするか」について各構成員が懸命に考えてくれた。今月のミーティングにおいて最も大きな進歩は、経済学部富本先生の助言を受けて「SDGsに関する学習とバスツアーを絡める」という方針が固まったことであろう。SDGsは国連で採択された持続可能な開発目標のことであり、保健、健康や貧困対策など17のテーマに分かれている。10月に実施するバスツアーでは留学生の参加者約30名を5班に分け、各班でSDGsの各テーマに沿った観点から山口県の観光地を調査してもらうことを決定した。各班には構成員が1名ないし2名付き添い、留学生参加者の学びや気づきを増やすような工夫を模索することになる。この方針が固まったことによって、これまで漠然としていたバスツアーの教育的意義が明確になるとともに、各構成員の山口観光に関する学習意欲が向上したように思われる。

~リダンダンシー~

8月9日に山口大学の常盤キャンパスで開催されたオープンキャンパスに出展しました。私たちは「箸？端？橋！！～橋のおはなし～」で出展し、橋の魅力を紹介したり、橋梁模型を展示してブリッジコンペティションの紹介をしたりしました。また実際に載荷試験も体験してもらいました。当初見込んでいた来場者数をはるかに上回り、166名の方に来てもらいました。大変疲れましたが、出展してよかったと思います。8月28日～8月30日に九州工業大学で開催されたJSBC2019に参加しました。山口大学は昨年に続き2回目の参加です。今大会は第10回大会であり、23チームが参加しました。私たち山口大学は昨年の経験を生かして作製した「第二維新橋」で大会に臨みました。結果はなんと7位！！年の失格から一歩前進です。また新たな課題も見つかりましたが、それ以上に成果があり、「記憶」にも「記録」にも残る大変貴重な経験になりました。



JSBC2019への出場など

~3K Lab.~



山口県慶進中学にて「化学実験セミナー」を実施

今月の8月20日に山口県 私立慶進中学校にて「化学実験セミナー」が行われました。今回は前回と対象学年が異なり、中学1年・3年生の15名と私たち3K Lab.のメンバー7名で実験と講義を行いました。メンバーが前回とほぼ同じであったため、当日もスムーズに実施できました。今回も前回同様、高吸水性樹脂を用いた芳香剤作りを行いました。実験内容は同じですが、前回より対象学年が下がったためスライドを変え、説明の仕方を工夫しました。実験を行ったことで、「化学を身近に感じる事ができた」、「山대에興味を持った」という声を多数いただきました。また、環境対策をテーマとして取り上げ、生徒に自分にできる環境対策とは何か、考えてもらったことで環境対策への理解も深まったと思います。改善点としては、お盆明けの実施であり先方がテスト等で忙しかったことから、予定より参加人数が少なくなった点が挙げられます。次回の化学セミナーでは、より多くの生徒が参加できるよう、行事等を考慮に入れた日程に調整・準備を行います。

おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています

～山大にゃんこ大作戦～

今月は、10月に控えている講演会の広報活動を行いました。まず先月に作成したポスターを掲示していただくために、県内5カ所の道の駅を訪問しました。道の駅の方は皆さん優しい方で、快く掲示していただきました。道の駅の潮彩市場防府を訪れた際はポスターを掲示していただくだけでなく、10月20日に開催される4周年イベントにお誘いいただきました。25日にはメディアに取り上げていただくために県と市の記者クラブを訪問し、講演会についての資料を持ち込みました。また山口新聞の方には個別に連絡を取り合い、講演会について取り上げていただけることになりました。30日には山口大学の学生に来ていただくために、学内にポスターを掲示しました。できるだけ多くの方に来ていただきたいと思います。



講演会の広報活動で道の駅訪問

Mini Bus Tour! ～Exploring Yamaguchi～



バスツアーの具体的準備に着手

今月はバスツアーの具体的な準備に着手した。9月初旬には参加者募集のためチラシと申込用紙を作成した。9月29日には留学生サポーター主催の新留学生歓迎イベントにおいて告知を行った。このイベントには多くの留学生（70名近く）が参加し、その場で20人が申込をしてくれた。新学期の開始後には日本語の授業においても告知を行う予定である。また今月の活動では保険に関するルールも決定した。今回のバスツアーでは学研災・学研賠によって参加者に一律に同じ保険をかける。バスツアー実施上の安全の問題に関する議論は、構成員にとって普段の大学生活ではなかなか経験出来ない貴重なものだった。大学の外で活動することに伴う危険や責任などについて構成員が学ぶ良い機会となったと思う。さらにバスツアーの準備としてSDGsに関する事前調査も進めている。山口県の観光地について環境や経済成長など様々な角度から調査をすることで、当初考えていたよりも広い意味で学びの多いバスツアーとなりそうである。

～ロボットとの共生を目指すグループ～

今月の私たちの活動は後期により進捗を進めるための勉強を各自で行いました。長期休業に差し掛かっていたこともあり、インターンシップや帰省などでメンバー同士が直接顔を合わせる機会は少なかったです。しかしその状況の中でもSlackなどのコミュニケーションツールを用いてグループ内で情報共有が滞りないようにしました。加えてGithubなどの開発支援ツールの使用方法をメンバー間で共有しました。さらに私たちは本プロジェクトのWebサイトの制作に取り組み始めました。使用言語はHTML/CSSです。これもチーム内で知識の共有を行ったほか、インターネット上の完成度の高いWebサイトを参考にすることで、プログラムの知識だけでなくデザイン面でも感性を養うことができました。またハードウェアの面では、基盤や必要機材の外注、アクリル板の加工方法の学習を行いました。10月2日から学内での活動を再開しますが、より高い完成度を目指して、チーム一体となって研鑽に取り組みます。



開発支援ツールの使用方法を学ぶ

導入費用250万減！？超格安セルフレジ構築

9月はレジの機能を中心に開発を進めました。具体的にはレジにとって欠かせない部品であるスキャナーやレシートプリンターとの連携を主に進めていきました。特に商品とバーコードデータの結び付けに力をいれ、商品情報や価格、バーコードの情報をCSVファイルで登録できる機能を完成させました。これにより大量の商品情報をエクセル等のソフトで一括登録できるようになりました。またCSVの読み込み機能だけでなく、書き込み機能もシステムに搭載することで商品を1品だけ追加したいような状況にも対応させることができました。こういった機能の実装ができた一方で、システム利用者が実際に使用する際の画面の開発が現段階で難航しています。デザイン経験のあるメンバーがいないため一から考えていく必要があります。10月は夏季休暇が終わりレジの開発に時間が割きにくくなりますが、一般に利用されているセルフレジや、事業主が利用するタイプの端末を研究することで、よりユーザビリティの高いセルフレジの開発に努めていきたいと思います。



レジ機能の開発

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**

～ロボットとの共生を目指すグループ～

今月は、ときわファンタジア2019に出展するためのロボット作成と、先月までに設計・加工を行ったロボットの組み立てを行いました。このロボットは、いわゆるオープンソースロボットで、3Dプリンターを用いて外形を作成しました。また、先月までに設計・加工を行ったロボットを組み立てました。先月加工したアクリル板と発注した部品であるバッテリーなどを用いて組み立てを行いました。組み立て時には、設計ミスや発注ミスなどがなく少し緊張しましたが、無事ミスがなく組み立てを行うことができたためよかったです。進捗がもとの想定より遅れてしまいましたが、無事組み立てをすることができたためよかったです。来月は、このロボットにプログラムを書きこんでいき、PS4コントローラで動作させる機能やAI部分の機能を実装していきたいと思っています。無事完成形が見えてきたので、この調子でメンバー丸となってより一層楽しく頑張っていきたいです。



ロボットの組み立て

～リダンダンシー～



吉田ホームカミングデーへの参加とラジオ出演

10月3日(木)に「FMきらら」というローカルラジオに出演しました。このローカルラジオは、普段から月に2回ほど工学部全体の様々なイベントや活動について紹介しており、地域の大人の方だけでなく、これから山口大学工学部の受験を目指す中高生も聞いている可能性があるの出演しました。この放送の中で私たちは、自分たちの活動を紹介し、「ものづくり」の楽しさや「橋梁の魅力」について紹介しました。初めてのラジオ出演でかなり緊張してしまい、パーソナリティの方の誘導にのっかることで精一杯でしたが、何とか楽しくやりきることができました。この放送を聞いた地域の大人の方や中高生が、私たちの活動や橋梁に関心を持ち、11月に常盤キャンパスで開かれるホームカミングデーに来てくださればとてもうれしいです。10月26日(土)に吉田キャンパスでホームカミングデーが開かれました。ここでは他のおもプロ参加者と交流を行い、互いの成果について意見を交わしました。

～山大にゃんこ大作戦～

今月は6日と13日に講演会を開催しました。6日は黒澤先生、小野塚先生を、13日は百武先生をお呼びしました。2つの講演会を開催し、人を集めることの大変さを痛感しました。講演会の広報活動は1カ月以上前から行っていました。講演会に参加してくださったのは40名ほどでした。11月に最後の講演会を開催するので、その際は今回の講演会の経験やアンケートの結果を基に、よりたくさんの来場者が見込めるように頑張ります。また、20日には道の駅「潮彩市場ほうふ」の4周年イベントに参加しました。私たちのブースに来ていただいた方に、団体や活動について広報を行いました。小さいお子さんからお年寄りの方までと、幅広いたくさんの方とお話できてよかったです。



講演会の開催

Mini Bus Tour! ～Exploring Yamaguchi～



バスツアーの事前準備

今月の活動は、前月に引き続きバスツアー実施の準備がメインとなった。前半には、旅のしおりの作成やバスツアーの告知、SDGsの事前調査などを行った。SDGsの事前調査では、山口県の観光地の魅力を考える際に参考になりそうな視点がいくつか見つかった。例えば「保健・健康」の観点からは県内の特産品のヘルシーさがアピールポイントとなりうるのではないかと、といった意見が出た。一方、例えば「環境」の観点から角島のゴミ問題に言及する構成員もいた。バスツアーでは魅力だけでなく、解決すべき問題についても調査したい。また今月後半の活動では、参加者を抽選で決定し、当選の連絡メールを送信した。しかしここで、当選者からの返信が来ず、繰り上げ当選の必要性が生じるという不測の事態が起こった。さらに学部や学年、使用言語が異なる様々な当選者との顔合わせ会の日程調整は非常に困難をきわめた。来月は、いよいよバスツアー本番である。構成員が一致団結して良いバスツアーとなるよう準備するつもりである。

おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています

導入費用250万減！？超格安セルフレジ構築

今期は、セルフレジの実地運用を目標に開発を行いました。今までは管理者側の立場に立ったプログラムの開発や、周辺機器の動作確認のみ行っていたため新しい試みで制作が難航しました。また、メンバーの用事も多くあり、なかなか開発に時間が取れたとは言えませんでした。実際にシステムがまともに運用できるようになったのは姫山祭前日であり、開発に完了したときはほっとしました。姫山祭でも、発電機の不調や、手続きの不手際、発電機の騒音問題など様々なトラブルに巻き込まれましたが、自ら考え、手を打つことで全ての問題をクリアし、目標としていたセルフレジの展示及び実地運用に成功しました。当日は多くの方々にご利用いただき、セルフレジがおかれていることに対して驚きの声を多くいただきました。実際に運用してみると、ディスプレイの文字サイズが小さいことや、誘導用の音声の必要性など様々な課題が見えました。来期はこの問題を解決していこうと思います。



姫山祭にて
セルフレジの実施運用

～山大にゃんこ大作戦～



第4回講演会の実施

今月は第4回講演会を西南学院大学の山根明弘先生をお呼びし、開催しました。野良猫の生態など基本的なことから調査方法などの実践的なことまでお話していただきました。学内調査をはじめとする私たちの活動の参考になる話も多く、とても勉強になりました。前回及び前々回の講演会にて思ったほどの来場者が見込めなかったため、今回の講演会では「ほっぷ」や「サンデー山口」（共に山口県のフリーの地域情報誌）に記事を掲載するなどの大々的な広報を予定しておりました。しかし講演者の先生のご意向もあり、広報活動は学内のポスター掲示などを主に行いました。また前回とは違い、講演会の聴講対象は学生のみになりましたが、20名ほどの学生が参加してくれました。参加学生は熱心に聞いてくれたので、うれしかったです。

Mini Bus Tour! ～Exploring Yamaguchi～

今月の主な活動内容は、バスツアーの実施と予行発表会の準備であった。バスツアーに参加した留学生（構成員を除く）は27名であり、秋吉台、弁天池、萩市、センザキッチン、角島の順に観光をした。各観光地では、構成員がSDGsの各テーマについて事前調査したことを留学生に解説した。秋吉台では、雄大なカルスト台地を散策してもらうことが出来た。弁天池では、池の水の不思議な色だけでなく、近くの鱒釣りにも興味を示す留学生が多かった。萩城下町の散策中には、構成員が解説する前に景観保護のために電柱や自動販売機の色が工夫されていることに気づく留学生もいた。センザキッチンでは、イカ焼きなどの食料品を買い込む留学生の姿が微笑ましかった。角島では、環境班はゴミ拾いをし、他の班は角島灯台の観光をした。角島灯台や弁天池に関してその存在も知らなかったという留学生が多く、「山口にはこんなにきれいな場所があるのか」と驚いていたのが印象的だった。来月は、バスツアーで学んだことや気づいたことを各班で発表する予定である。



バスツアーの実施

～3K Lab.～

今月は、11月16日にあったホームカミングデーの準備と第3回の訪問高校への電話によるアポイントメントを行いました。ホームカミングデーやその前日の常盤工業会の交流会では、山口大学のOBや高校生などに私たちのプロジェクトを宣伝する良い機会になりました。また、もともと自分の行っていることや意見を他人に伝えるのが苦手でしたが、このプロジェクトを通して少しずつではありますが成長しているのではないかと実感しています。11月の中旬からは本格的に第3回の化学実験セミナーの訪問高校を決定するために、高校や中学校に電話でプロジェクトの宣伝と相談を行いました。前回や前々回とは違い、メールではなく電話で直接話したため難しかった部分がたくさんありました。初めは、期日までの電話も頂けなかったり、手応えもない状態でしたが、何度も電話をしていくうちに「面白そうだね」、「検討してみます」といった良い返事をもたらせるようになりました。まだ、訪問校は決まっていますが、引き続き電話による対応を行っていく予定です。



訪問高校への
電話による
アポイントメント

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**

Mini Bus Tour! ~Exploring Yamaguchi~

今月は11日に予行発表会を実施した。予行発表会では経済成長班に始まり景観保護班までの全5班が発表をした。各班よく準備をして発表をしていたが、不慣れな日本語で難しい内容を発表している班もあり、最終発表会まで練習を重ねることが必要だと感じた。経済成長班は、季節イベントの実施、クイズラリーの主催など具体的な政策提案をしてくれていた。環境班は、角島大橋付近で行った清掃活動の紹介をし、環境問題が観光と密接に結びついた国際問題であることを説明していた。保健班は、衛生面と健康面から山口県の観光地の強みと弱みを分析して発表をしていた。技術革新班は、角島大橋に用いられている環境景観保護のための技術などを紹介し、高い技術力が観光業に貢献していることを説明していた。景観保護班は、秋吉台や萩市の景観保護の取り組みについて調べたこととバスツアー中に気づいたことを紹介していた。各班ともに最後はバスツアーの感想でまとめていた。来月上旬には最終発表会を実施する。しっかりと準備して臨みたい。



1月上旬開催予定の最終発表会の練習会

~リダンダンシー~

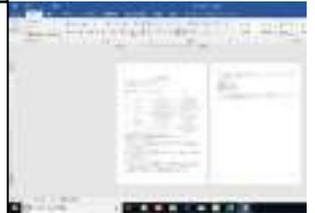


ブリッジコンパティビリティに関する学内紹介の実施

12月4日(水)に2回目のブリコン紹介を行いました。この日は社会建設工学科の4年生を対象に、大会に参加するまでの流れや大会本番での様子、大会後の活動について紹介しました。パワーポイントだけでなく写真や動画も使って紹介したので、私たちの活動のことを十分に知ってもらえたと思います。特に載荷競技と架設競技の動画には興味を示してくれていたような気がしました。またこの日はブリコンの紹介だけではなく、橋梁に関する一般的なことや研究内容についても紹介しました。橋梁の魅力が伝わっていただければ大変うれしいです。12月11日(水)に3回目のブリコン紹介を行いました。この日も社会建設工学科の4年生を対象に募集をかけましたが、テスト前日ということもあり参加者はいませんでした。ブリコン紹介で少しは学内の人にブリコンのことについて知ってもらえたと思います。1月はもっと知ってもらえるように、SNSで情報を発信していく予定です。

~山大にゃんこ大作戦~

先月までに計画していたすべての講演会を開催し終わりましたので、今月は主に講演会の内容をまとめる原稿作成作業を行いました。講演会の内容を正確に伝え、かつ読みやすいものになるように頑張っています。今まで文章作成の経験は多くなかったため、文章を書くことの難しさを感じました。また、ガイドブックの印刷などをお願いする予定のマルニさんの担当者さんとの打ち合わせを行いました。より良いものを作れるように、来月以降も作成に励んでまいります。



講演会内容をまとめたガイドブックの作成

導入費用250万減! ?超格安セルフレジ構築



機器の調達とwebサイト構築に向けて

今期は、セルフレジの動作に必要な周辺機器を探すことに注力しました。しかし、周辺機器の調達方法がインターネットオークションという特性上、難航しました。周辺機器は大学の規定上、大学が出品者と直接取引にて調達する必要があります。この大学による直接取引の確認までの時間の間にオークションにて落札が成立してしまったり、連絡そのものが取れなかったりと入手方法にやはり問題があるなど痛感しました。そのため、検索範囲をヤフーオークションから別のサイトに広げるなど可能な限りの手は尽くしてみたのですが、成果には至りませんでした。このため、今後は自身が所有しているセルフレジの周辺機器を利用しての開発を進めていきたいと思っています。また、今後は開発だけではなく、セルフレジ自体の広報活動に努めていきたいと思っています。そのために、webサイト構築等の知識をこれから増やしていき様々な形での広報活動を実施することができればと思います。

おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています

～ロボットとの共生を目指すグループ～

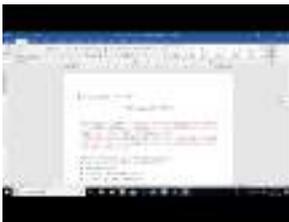
今月は、先月ときわファンタジア2019に展示したロボット村の作品の撤収と、ときわファンタジア2019の振り返りをグループ内で行いました。出展したロボットの制作には、グループ内のほぼ全員が協力して行うことができたので、制作体制としてはとても良かったと考えています。また、完成した作品については、無事想定した機能を制作することができ、完成度についても想定通りのものを制作することができたので良かったと思います。今月の活動は、試験期間の関係でほとんどすることができませんでした。来月からは、以前制作していたロボットのAI部分の実装を進めていこうと思います。いよいよ後期の授業・テストもほぼ終盤になり2月は多くの時間の余裕が生まれる時期です。2月はより多くの時間を作業に費やせるため、よりよいロボットの完成を目指していきたいと思っています。また、3月には子供たちにAIホビーロボットを遊んでもらうイベントを開催する予定です。よりよいイベントになるようにも精度の良いAIの開発を進めていくつもりです。



回収したロボットの解体

～山大にゃんこ大作戦～

今月は、先月に引き続きガイドブック原稿の作成に励みました。大まかにできた原稿を基に、マルニの藤本さんとメールで打ち合わせを行い、大まかなデザインを決めました。幅広い層の方から手に取っていただけるような親しみやすいデザインになったかなと思います。またガイドブックの当団体の紹介ページにも取り掛かりました。初めて手に取ってもらえる方にどんな活動で、どのような思いを持っているかが伝わるような内容にすることを心掛けました。ガイドブックがより良いものになるように、今後もマルニさん、講師の先生方と綿密に打ち合わせをし、作成に努めてまいります。



ガイドブックの編集作業画面

Mini Bus Tour! ～Exploring Yamaguchi～

今月は9日に最終発表会を実施した。最終発表会にはバスツアー参加者のほぼ全員が参加し、バスツアーで学んだことや感じたことを発表した。経済学部観光政策学科の先生方や留学生交流系の職員さんも参加して下さい、多くの質問やアドバイスを頂くことが出来た。発表会は日本人学生にとっても非常に勉強になる内容だったと思う。印象に残った質疑応答の例を挙げる。観光政策学科のある先生が「一般的には電柱は地下に埋める方が景観保護の観点から良いと言われる。一方で60歳前後の世代の中には、古い電柱が地上に並んでいる風景が懐かしくて良い景観だ、という意見もある。このことについてどう思うか」という質問をされた。これに対し、ある台湾人は「私は、(歴史的な景観やのどかな田園風景を乱すように)乱雑に並んだ電柱はやはり景観保護の観点から対策をするべきだと思う」とハッキリと意見を述べていた。景観保護の問題を含め、観光に関する問題には答えがないものも多い。様々な考えを持つ人々が議論していくことが大事だと感じた。



最終発表会の開催

～リダンダンシー～

1月28日(火)にSNSを更新しました。更新した内容は鋼橋梁モデルの作成手順についてです。1月18日(土)と19日(日)にセンター試験が終わったばかりの受験生に私たちの活動の様子が届き、興味を持ってくれればいいなと思います。現在私たちのofficial facebookのフォロワー数は少ないですが、受験生の目に留まり、山口大学工学部社会建設工学科を受験するきっかけになればいいなと思います。今後は私たちのofficial facebookのフォロワー数を増やすことを課題とします。構成員全員でどうやったら私たちのofficial facebookのフォロワー数が増えるのか、考えたいと思います。2月が最後の活動期間となりますが、次回はプリコン本番の様子を私たちのofficial facebookにて紹介する予定です。他にも、「ものづくり」の面白さが伝わるような写真をどんどん公開し、私たちの活動を広めていきたいと思っています。



official facebookによる広報

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**



～ロボットとの共生を目指すグループ～

今月は、ロボットの制御と配線作業、動作確認を行いました。春休みになり、ロボット開発のための時間を多くとることができました。メンバーのみんなで各自時間をとって活動場所に集まり、開発を進めてきました。開発は、遊んでもらう子供たちにとって「楽しいか」「遊びやすいか」などの点を考えながら進めました。結果として、ホビーロボットを完成させることができました。ただ、AI機能が未熟であったりするので、AI機能の強化などよりおもしろいロボットを製作していきたいと思います。来月は、おもプロの正式な活動としては最後の活動になってしまうのですが、満足できるものを製作し楽しく遊んでもらうものを作るために頑張っていきます。また、3月に子供たちに遊んでもらうイベントを計画していたのですが、コロナウイルスによる影響でイベントが延期（開催日は未定）になってしまいましたが、しっかりとそれまではプロジェクトをやり切りぬいていきます。



ロボットの完成

～Mini Bus Tour! ～Exploring Yamaguchi～



バスツアーなどの反省会

今月は実家に帰省した構成員が多かったということもあり、あまり活動できなかった。今月の活動は12日に行われた自主活動交流会への参加と27日に実施した反省会のみである。27日の反省会では、プロジェクト全体を通しての反省点をまとめた。バスツアー計画段階での反省点としては、作業負担が少数の人に集中していたことやミーティングの効率が悪かったことなどが意見として出された。これらの反省点は、おもしろプロジェクトだけでなく、あらゆる組織活動にとって重要な反省点だった。またバスツアー自体の反省点としては、昼食の時間が短かったことや各観光地での滞在時間が短すぎたり長すぎたりしたことなどが挙げられた。これらはバスツアーを実際にやってみないと分からないことであり、貴重な反省点だった。バスツアー後の報告会については、報告会の意義が留学生に上手く伝わっておらず困惑した留学生が多かったという意見が出た。いずれの反省点も、おもしろプロジェクトに関わらず大事なことであり、改善していく必要があると感じた。

～3K Lab.～

今月は先月に引き続き、第3回化学セミナーの実施に向けて訪問高校（熊毛北高校）と日程調整と最終報告に向けての準備を行いました。メールで熊毛北高校とアポイントをとり、セミナー開催に向けての準備を整えていましたが、新型コロナウイルス感染症の動向を鑑みて化学セミナーの開催の中止・延期も検討しています。今後は新型コロナウイルスの状況に応じてセミナー企画開催の検討を行い、訪問高校に連絡したいと思います。今年度のセミナー開催は難しいため、来年度も資金支援を頂けたら、改めてセミナー開催に向けて熊毛北高校連絡して日程調整を行い、セミナー開催に向けての準備を進めていこうと思っています。来年度からも小、中、高生を対象とした訪問型の化学実験イベントを行い、化学が苦手な学生を含めてより多くの学生に化学の「おもしろさ」や「不思議」に触れてもらいたいと考えています。



セミナーの開催に向けた調整

おもしろプロジェクト報告会 開催のお知らせ



下記の日程で「第24回おもしろプロジェクト'19報告会」を開催を予定しています（新型コロナウイルスの関係で時期に変更があります）。2019年度に活動を行った6つのプロジェクトがその成果を発表します。また報告会の前後には「おもプロ学長賞」の投票も開催され、自主活動ルーム前や工学部、医学部の学食前に各プロジェクトの活動概要ポスターも掲示されます。おもプロに興味のある方、2020年度に応募してみようかと考えている方など、多数の来場をお待ちしています。

場所：共通教育棟 15番教室
日時：2020年4月12日13時～（新歓フェス同日）

**おもしろプロジェクトに関するお問い合わせは
自主活動ルームにて受け付けています**